



株式会社 Manabell Games

東京都江戸川区北小岩五丁目1番19号 ラビエー 302

URL : <http://www.thecellbiology.jp>



代表取締役 原康 / 聞き手 竹原 慎二

新感覚ゲームで学問を娯楽へ、遊びを学びへと革新する

「生物学カードゲーム」とは斬新ですね。どのようなゲーム内容なのでしょう。

生物学用語に由来するキャラクターが登場する、対戦しながら生物学が学べるカードゲームです。遺伝子工学、生態学、免疫学、微生物学の4種がデッキとなっており、生物学4ジャンルを網羅。高校生物学で学ぶ重要単語108種類が全てカードになっており、用語解説も付いているため、特徴を覚えることで自然と生物学の知識を身に付けることができるんですよ。

興味深い内容ですが、生物学をゲームにした意図と云いますと？

昨今ではコロナウイルスやPCR検査など、遺伝子や生物学に関する知識がないと理解できない話が増えました。そこで、大人が楽しみながら学べるコンテンツとして開発。教育市場でも通用する製品として、受験勉強に使えるレベルの実用的教養をカードゲームに落とし込むことに注力しました。教育と遊びを一つにしたゲームは他にもありますが、このゲームは大人の男性が見ても「やってみよう」と思えるような

イラストや世界観、クオリティの高さに徹底的に拘っています。

教育的要素とゲームの魅力が高いレベルで両立しているんですね。

それが『Manabell Games』の社名の通り、当社が大切にしている点です。猫が物にじゃれて遊びながら狩りの勉強をするように、遊びと学びは本来融合しているはずなのですが、人間社会では切り離され、遊びはその時だけで終わる利那的なものに、勉強は面白味に欠けるものになっていきます。そこを本来の形に戻していきたいですね。